2022 年度終了　東京都立大学教育改革推進事業
（【A】組織提案型支援プログラム）取組

１　取組名称

医療系学生のリーダーシップを育成する多職種連携教育（IPE）－効果的・効率的演習に向けた preliminary trial －

２　取組組織名

健康福祉学部

３　取組実施代表者名

健康福祉学部　作業療法学科　教授　大嶋 伸雄

４　取組年度期間

2020～2022 年度（３年間）

５　取組の概要

健康福祉学部では、将来のリーダーシップを担う人材を育成するために実践されている多職種連携教育（IPE：Interprofessional Education）を基盤とした「学際教育科目群」を開講する予定である。本取組では、この科目群の中核である演習科目における効率的な運営のための調査、ならびに効果的な教育方法や評価方法等の事前準備の検証やさらなる教育支援体制の検討を行う。具体的な目的は下記３点である。

①「IPE 海外短期研修」において、新規提携校を増やす。一方で提携大学における IPE 大学の実態を調査し、本学のプログラムに反映させる。

②「多職種連携Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」における教育的効果を十分に発揮するための実践演習（preliminary trial）を実施し、その教育効果についての知見と組織運営のための実践資料・データを得る。

③学科横断型プロジェクトの実践演習（preliminary trial）を教員および学生が体験する機会を得て、組織的基盤作りを行う。学内では意見交換会や学習会、シンポジウム等を通じて IPE の啓蒙を図っていく。

６　事後評価の総合評定

３．９　※審査会（教育担当副学長及び部局長構成）の審査員が行った５段階評価（５～１）の平均点

７　事後評価に関する審査会での主な意見

〇将来のリーダーシップを担う人材を育成するため多職種連携教育のプログラムを効率

的に運営するための準備作業に尽力したことは評価できる。コロナ禍での厳しい環境下で、留学先の機関との提携交渉、国際シンポジウムの開催や近隣からの情報収集など、オンラインの活用等の工夫によって目的とすべき課題に取り組み、一定の成果を上げたことは重要であると考えられる。

〇医療系の職場では、専門的な知識に加えて様々な能力が必要とされる．本取り組みは、そのために設計された教育プログラムの準備として位置つけられている。開始時期がコロナ禍のため、当初から想定外の対応を求められたにも関わらず、新たな提携先の獲得、オンラインツールを用いた臨機応変な対応、オンラインで可能になった遠方の大学との連携、国際シンポジウムの開催等、優れた点が多くみられた。

〇新型コロナ感染症の影響を極めて大きく受ける計画であった中で、様々な工夫によって困難を克服し、さらに国際交流の可能性を切り開いた。